

週報①

広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況

検出菌 ウイルス	2024年												2025年								
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月 ~2日	3月 ~9日	3月 ~16日	3月 ~23日	3月 ~30日	4月 ~6日	4月 ~13日
カンピロバクター	20	24	38	25	57	50	39	41	50	50	37	36	18	14	10	9	6	4	9	4	5
病原性大腸菌	43	61	105	92	79	76	83	70	86	49	46	33	23	107	21	26	8	18	17	17 (25)	21
腸管出血性大腸菌	0	3	1	0	1	2	1	6	2	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0
サルモネラ	4	4	2	7	5	8	12	29	13	12	7	6	1	3	1	1	1	3	2	1 (2)	1
黄色ブドウ球菌 MSSA	6	4	16	4	12	21	11	17	24	5	6	4	14	15	2	1	1	2	0	2 (3)	1
黄色ブドウ球菌 MRSA	8	6	12	6	3	10	8	6	21	12	8	13	9	9	3	4	2	2	3	1	6
腸炎ピブリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	1	3	1	5	1	2	0	1	0	3	1	1	0	0	0	1	0
ロタウイルス	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2	8	0	2	5	0	2	2	4
アデノウイルス	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1	3	2	0	1	0	1	1	2
ノロウイルス	9	20	10	3	4	0	1	1	1	0	0	0	0	11	10	13	7	5	2	1	2

()は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

週報②

広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報

令和7年第15週(4月7日~4月13日)

2. 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	7	結核	7		2			5		
三類	0	発生なし	0							
四類	0	発生なし	0							
五類	32	侵襲性肺炎球菌感染症	2					2		
		梅毒	3					2	1	
		百日咳	27		2	4		20	1	

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市
西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町
北部…三次市、庄原市
● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

■コメント

1 急性呼吸器感染症(ARI)

定点当たり53.73人の報告がありました。

2 百日咳

20件の報告があり、増加が続いています。今年の累計は78件と、2018年に全数把握疾患となってから最多の報告があった2019年を上回るペースで推移しています。肺炎や脳症などを合併することもあり、1歳以下の乳児、特に生後6か月未満の乳児は重症化のリスクが高く、注意が必要です。予防にはワクチン接種が有効です。定期接種対象者は早めに接種を受けましょう。

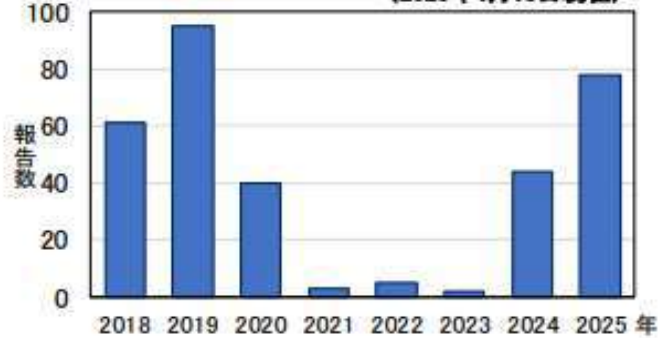
3 感染性胃腸炎(ロタウイルス)

定点当たり1.83人の報告があり、増加傾向です。こまめな手洗い、便・吐物の適切な処理など、感染予防対策を徹底しましょう。

4 伝染性紅斑

定点当たり0.59人の報告があり、増加傾向です。全国でも増加しており、注意が必要です。

広島市における百日咳の報告状況(年別)
 (2025年4月13日現在)



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間平均(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間平均(注)	発生記号	急増減		
												急増減	増減	微増減
ARI	急性呼吸器感染症(ARI)	1773	53.73	/		小児科	突発性発しん	2	0.09	0.26		急増減	↑	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
	インフルエンザ	11	0.32	1.34			ヘルパンギーナ	-	-	0.06		増減	↘	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
	新型コロナウイルス(COVID-19)	46	1.35	/	⇒		流行性耳下腺炎	1	0.05	0.02		微増減	⇄	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
小児科	RSウイルス感染症	14	0.64	0.65	⇒	眼科	急性出血性結膜炎	-	-	0.03		横ばい	⇔	ほとんど増減なし
	咽頭結膜熱	5	0.23	0.22	⇒		流行性角結膜炎	8	1.00	0.60				
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	42	1.91	1.06	⇒	基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-				
	感染性胃腸炎	294	13.36	4.74	⇒		無菌性髄膜炎	-	-	-				
	水痘	3	0.14	0.12			マイコプラズマ肺炎	7	1.17	0.06				
	手足口病	1	0.05	0.39			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-				
	伝染性紅斑	13	0.59	0.06			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	11	1.83	-				

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

急性呼吸器感染症(ARI)定点数(内科・小児科)	34
小児科定点数	22
眼科定点数	8
基幹定点数	6

※急性呼吸器感染症(ARI)においては、国のシステム障害により、33定点からの報告

(注)過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	5	36	60歳代・1人、70歳代・2人、80歳代・1人、90歳代・1人
5	侵襲性肺炎球菌感染症	2	15	60歳代、70歳代
5	梅毒	2	36	50歳代、60歳代
5	百日咳	20	78	10歳未満・5人、10歳代・8人、30歳代・2人、50歳代・3人、70歳代・2人